

2月16日(日)

8:40~10:10 第1会場

シンポジウム9 近未来の最小侵襲脊椎治療

共催：株式会社フィリップス・ジャパン

座長：成田 渉（亀岡市立病院整形外科）
安倍雄一郎（我汝会えにわ病院整形外科）

S9-1

酒井 大輔
東海大学医学部外科学系整形外科学

S9-2

松川啓太郎
村山医療センター整形外科

S9-3

長濱 賢
我汝会さっぽろ病院整形外科

S9-4

成田 渉
亀岡市立病院整形外科

S9-5

安倍雄一郎
我汝会えにわ病院整形外科

S9-6

Scarone Pietro
Lugano Regional Hospital, Switzerland

10:15~11:55 第1会場

シンポジウム10 新しいMISTのための共生

座長：富田 卓（青森県立中央病院整形外科）
伊藤 康夫（神戸赤十字病院整形外科）

S10-1

渡邊 吾一
札幌スパインクリニック整形外科

S10-2

勝見 敬一
新潟中央病院整形外科脊椎・脊髄外科センター

S10-3

野尻 英俊
順天堂大学医学部整形外科

S10-4

笹川 武史
富山県立中央病院整形外科

S10-5

松森 裕昭
香芝旭ヶ丘病院脊椎・人工関節センター

S10-6

荒瀧 慎也
岡山医療センター整形外科

S10-7

寺山 星
春陽会中央病院

12:00~12:10 第1会場

閉会挨拶・表彰式

伊藤 康夫（神戸赤十字病院整形外科）

8:40~9:20 第2会場

一般演題7 コンドリアーゼ

座長：酒井 紀典（徳島大学大学院運動機能外科学（整形外科））
鶴飼 淳一（名古屋第二赤十字病院整形外科）

07-1 腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ椎間板内注入療法の治療成績

佐久間吉雄、玄 奉学、河野 裕、室谷錬太郎、早坂 豪、山口 寛人
千葉中央メディカルセンター

07-2 腰椎椎間板ヘルニアへのコンドリアーゼ椎間板内注入の治療成績

塩崎 泰之
住友別子病院整形外科

07-3 コンドリアーゼ椎間板内注入療法6か月後における画像の変化について

田所 佑都、小田 孔明、時岡 孝光
高知医療センター整形外科

07-4 腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼを用いた化学的髄核融解術—化学的髄核融解術により腰痛は改善するか？—

岡田英次朗¹、鈴木 悟士¹、辻 収彦¹、名越 慈人¹、藤田 順之²、八木 満¹、
中村 雅也¹、松本 守雄¹、渡辺 航太¹

慶應義塾大学整形外科¹、藤田医科大学整形外科²

07-5 腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解術—不良例の検討—

岡田英次朗¹、鈴木 悟士¹、辻 収彦¹、名越 慈人¹、藤田 順之²、八木 満¹、
中村 雅也¹、松本 守雄¹、渡辺 航太¹

慶應義塾大学整形外科¹、藤田医科大学整形外科²

9:25~10:05 第2会場

一般演題 8 スクリュー刺入法

座長：藤尾 圭司（関西電力病院脊椎外科手外科整形外科）

石部 達也（日野記念病院滋賀脊椎センター）

08-1 S2 alar-iliac screw と仙腸関節とのなす角度と刺入方向の安全域について

澤田 雄大、安倍雄一郎、小甲 晃史、吉江 範親、柳橋 寧、百町 貴彦
えにわ病院

08-2 胸椎経皮的椎弓根スクリューによる high profile を予防する工夫—当院が作成した K リーマー使用によるスクリュー設置深度の成績—

内野 和也、中西 一夫、三崎 孝昌、渡辺 聖也、射場 英明、長谷川 徹
川崎医科大学附属病院脊椎・外傷整形外科

08-3 後期研修医の経皮的椎弓根スクリューの挿入精度：C-arm2 台の 2 方向透視法の場合

蒲田 久典^{1,3}、椎名 逸雄²、國府田正雄³、小林 嵩弘²、桂 健生²、朝田 智之³、
三浦 紘世³、船山 徹³、安部 哲哉³、水町 隆雄²、菅谷 郁夫²、山崎 正志³

茨城県西部メディカルセンター整形外科¹、総合守谷第一病院 整形外科²、
筑波大学 医学医療系 整形外科³

08-4 スクリュー間に角度をつけて挿入する経皮的後方固定術

小田 孔明、時岡 孝光

高知医療センター

08-5 同種骨を用いた経皮的椎弓根スクリューの固定性強化

吉原 智仁、森本 忠嗣、前田 和政

佐賀大学整形外科

MIST in KOBE セミナー 4 疼痛に対する MIST

共催：第一三共株式会社

座長：大和田哲雄（関西労災病院整形外科）

MiK4-1 神経障害性疼痛治療の新展開 —薬物療法から包括的痛み対応へ—

加藤 実

日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野

MiK4-2 脊椎脊髄外科における神経障害性疼痛 —脊髄障害性疼痛症候群の病態・現状・対策—

中嶋 秀明

福井大学医学部整形外科

8:40~9:30 第3会場

一般演題 9 ASD

座長：竹内 一裕（国立病院機構岡山医療センター整形外科）

深谷 賢司（綾部ルネス病院）

09-1 腰椎側方固定術における術中 CT ナビゲーションシステムの有用性： 側弯を伴う成人脊柱変形症例における検討

庄司 寛和、澤上 公彦、田中 裕貴、石川 誠一

新潟市民病院

09-2 Translace™ Spinal Tethering System を用いた特発性側弯症に対する矯正固定術の成績

齋藤 亘、宮城 正行、井村 貴之、井上 玄、白澤 栄樹、中澤 俊之、
高相 晶士

北里大学医学部整形外科学

09-3 成人脊柱変形に対する手術治療 —当院における工夫と問題点—

須賀 雄一、吉野 仁浩、島田 惟弘

総合新川橋病院

09-4 成人脊柱変形に対する c MIS における L5/S1 レベルでの骨癒合率及び獲得前 弯角に関する検討

河中百合、石原 昌幸、谷 陽一、朴 正旭、足立 崇、串田 剛俊、
谷口慎一郎、あんど宗治、小谷 善久、齋藤 貴徳

関西医科大学整形外科学講座

09-5 成人脊柱変形に対する OLIF と PPS を用いた変形矯正固定術 (circumferential minimally invasive surgery) の治療成績

深谷 賢司

綾部ルネス病院

09-6 成人脊柱変形に対する dynamic correction hook system を併用した脊柱短縮骨切り術 ～安全な矯正と合併症予防の工夫～

菅野 晴夫¹、相澤 俊峰¹、橋本 功¹、小澤 浩司²

東北大学整形外科¹、東北医科薬科大学整形外科²

9:30~10:20 第3会場

一般演題 10 MIS-TLIF

座長：石井 正悦（関西労災病院整形外科）

森 幹士（滋賀医科大学医学部整形外科学講座）

**010-1 腰椎変性疾患に対する内視鏡下腰椎後方椎体間固定術の手術成績
— ME-TLIF と open TLIF の多施設前向き研究 —**

福島 成欣¹、大島 寧²

虎の門病院整形外科¹、東京大学整形外科²

010-2 腰椎変性すべり症に対する CBT スクリュー併用椎間関節固定術の骨癒合率と良好な臨床成績

宮下 智大¹、加藤 啓¹、安宅 洋美²、大鳥 精司³、丹野 隆明²

松戸市立総合医療センター脊椎脊髄センター¹、松戸整形外科病院 脊椎センター²、
千葉大学 整形外科³

010-3 腰椎変性すべり症に対する経皮的椎弓根スクリュー併用椎間関節固定術の術前椎間不安定性と骨癒合の関係

宮下 智大¹、安宅 洋美²、加藤 啓¹、高岡 宏光³、大鳥 精司³、丹野 隆明²

松戸市立総合医療センター脊椎脊髄センター¹、松戸整形外科病院 脊椎センター²、
千葉大学 整形外科³

010-4 ブームランケージ使用の TLIF におけるケージ個数と椎体間安定の関連性について

中原 誠之¹、土方 保和¹、大久保直規¹、波多野 希¹、小谷 善久²

北須磨病院¹、関西医科大学総合医療センター 整形外科²

010-5 MIS-TLIF における椎体間ケージ別の画像経過の検討

横田 和明、山田 周太、津田 圭一、田上 敦士、尾崎 誠

長崎大学整形外科

010-6 C-arm free MIS-TLIF における手術成績の検討

魚谷 弘二、藤原 吉宏、山内 太郎、田中 雅人

岡山労災病院

主題 13 近未来の診断・評価・治療法

座長：宮本 敬（岐阜市民病院整形外科）
 笹岡 隆一（淀川キリスト教病院整形外科）

M13-1 経仙骨的脊柱管形成術（TSCP）におけるガイディングニードルテクニック

島崎 孝裕¹、横須賀公章¹、船尾 陽生²、鶴飼 淳一³、中西 一夫⁴、朴 正旭⁵、
 富田 卓⁶、星野 雅洋⁷、齋藤 貴徳⁵、石井 賢²、佐藤 公治³、佐藤 公昭¹、
 志波 直人¹

久留米大学医学部整形外科教室¹、国際医療福祉大学医学部整形外科²、
 名古屋第二赤十字病院整形外科³、川崎医科大学整形外科⁴、関西医科大学整形外科⁵、
 青森県立中央病院整形外科⁶、苑田第三病院東京脊椎脊髄病センター⁷

M13-2 腰仙部移行椎例における胸腰椎移行部の形態調査

津田 圭一、田上 敦士、山田 周太、尾崎 誠
 長崎大学整形外科

M13-3 びまん性特発性骨増殖症の有限要素解析

小林 孝巨¹、森本 忠嗣¹、郭 壱²、東藤 貢²、前田 和政¹、吉原 智仁¹、
 平田 寛人¹、戸田 雄¹、馬渡 正明¹

佐賀大学脊椎外科¹、九州大学応用力学研究所²

M13-4 BKP における差分画像の有用性 ~Blank Road Map for BKP~

佐藤 晋平¹、岩崎 素之²、大浦 大輔¹

小樽市立病院放射線室¹、小樽市立病院 脳神経外科²

M13-5 LLIF ケージ挿入による隣接椎間板高の変化

—3次元 CT 画像解析による定量的評価—

明田 浩司¹、山田 淳一¹、竹上 徳彦¹、舩田 浩一²、井上 望³、須藤 啓広¹

三重大学大学院運動器外科学¹、

Department of Orthopaedic Surgery, University of California, San Diego²、

Department of Orthopedic Surgery, Rush Medical College³

M13-6 椎体 CT 値（Hounsfield Unit）は椎体内の高位に伴って変化する

—強固な固定を得るための CT 値による椎体強度の評価—

高尾真一郎、三澤 治夫、瀧川 朋亨、山根健太郎、村岡 聡介、辻 寛謙、

尾崎 敏文

岡山大学病院整形外科

ハンズオンセミナー 2 人工椎間板置換術

共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社

座長：國府田正雄（筑波大学医学医療系整形外科）

HS2

吉井 俊貴

東京医科歯科大学医学部整形外科

技術指導：海渡 貴司（大阪大学大学院器官制御外科学（整形外科））